

北海道心理学会第 65 回大会のご案内

ごあいさつ

～心と心が会おうとき～

北海道心理学会 第 65 回大会
準備委員長 中野 茂 (札幌国際大学)

北海道心理学会第 65 回大会を、札幌国際大学を会場として開催することになりました。65 年という歳月は、社会の中では、定年を迎え、世代交代の時期ともいえます。そのような節目の時期に、大会の歴史に名を留められることを有り難く感じております。

今大会では、通常の研究発表に加え、大会企画シンポジウムと、昨年同様に、認定心理士の会と共催の公開シンポジウムを予定しています。皆様にご満足いただけます大会となりますよう努めて参りますので、是非、ふるってご参加下さいませよう、お願い申し上げます。

やっと盛夏となってきましたこの頃ですが、羊ヶ丘から続く広大な森に囲まれた本学です。会期の 10 月 20 日頃は、紅葉の見ごろではないかと思っておりますので、ご来場をお待ちしております。

1. 会期

2018 年 10 月 20 日 (土) 10 時 (開場) ～17 時 30 分, 18 時 30 分～懇親会

大会： 札幌国際大学 2 号館 (札幌市清田区清田 4 条 1 丁目 4-1) 2 階 創風・222 教室
3 階 ロビー 231 教室 4 階 241 演習室・242 教室・245 教室・246 教室・247 演習室
(全館 Wi-Fi が利用可能です (SSID : SIU-WIFI パスワード : 当日受付に掲示します))

懇親会： 活菜旬魚さんかい (札幌市豊平区月寒東 3 条 19-13-1 Tel: 011-852-2077)

2. 受付

9 時 00 分～ 2 号館 2 階ロビーにて受付を行います。大会会場内では、名札を必ずご着用ください。

3. 諸費用

	正会員 (一般)	正会員 (大学院生)	臨時会員	学部学生
大会参加費	3000 円	2000 円	3500 円	1000 円
懇親会費	5000 円	3500 円	5000 円	3500 円

大学院生、学部学生の方は当日学生証をご提示ください。認定心理士の有資格者がシンポジウムだけに参加する場合には参加費はかかりません。諸費用 (年会費未納の方は年会費含む) の納入は当日受付にて承ります。

4. 日程

9:00	10:00	12:00	13:00	14:00	15:30	16:30	17:30	18:00	18:30
受付	認定心理士の会シンポジウム (2F 創風)	理事会 (242 教室)	総会 (2F 創風)	大会企画シンポジウム (2F 創風)	前半	ポスター発表 (3F ロビー) 後半	移動準備	バス移動	懇親会 (さんかい)

5. 会場内のご案内

1) クローク

クロークはございません。

2) 休憩所

2F 222 教室および2F ロビーにてご休憩いただけます。222 教室には簡単なお飲み物をご用意しておりますのでセルフサービスにてご利用ください。なお、喫煙に関しては学内施設内全面禁煙です。予めご了承ください。

3) 展示

2F ロビー売店近くにて機器展示がございます。

4) 昼食

大会当日は学内食堂およびコンビニエンスストアは営業しておりません。大学周辺にはファミリーマートがございます。周辺（徒歩圏内）には飲食店はありませんので予めご承知おきください。2F ロビーおよび1Fには飲料の自動販売機がございます。

6. 大会当日の連絡

1) 大会スタッフ

スタッフ用の名札を付けております。ご用の際はご遠慮なくお申し付けください。

2) 大会本部のご連絡

大会本部へのご連絡には次の連絡方法をご利用ください。

前日まで：hokkaido-psy65@ts.siu.ac.jp

当日：大会受付まで直接お越しください。

大会本部：2号館2Fロビー

7. 懇親会

活菜旬魚さんかい（札幌市豊平区月寒東3条19丁目13-1 ☎ 011-852-2077

大学からの送迎バスがあります。なお定員に達したため当日の受付は行いません。

会場へは送迎バスでお送りします。乗車定員を超える場合はお乗りいただけません。できるだけ乗車予約をお願いします（当日受付にてお申し出ください）。

8. 北海道心理学会理事会

12時00分より242教室（2号館4F）で行います。

9. 北海道心理学会総会

13時00分より創風（2号館2F）で行います。

10. 認定心理士の会主催シンポジウム打ち合わせ

246教室（2号館4F）が使用できます。

11. 大会企画シンポジウム打ち合わせ

245教室（2号館4F）が使用できます。

研究発表者へのご案内

ポスター発表（15:30～17:30，3Fロビー）

ポスター発表は、セッション中（2時間）ポスターを掲示し、指定された責任在席時間（60分）に質疑に応じることにより、正式な発表とみなされます。責任在席時間は奇数番号の発表が前半（15:30～16:30）、偶数番号の発表が後半（16:30～17:30）です。責任在席時間に発表と在席の確認をおこないます。

ポスター掲示用のパネルはA0サイズ（縦1189mm 横841mm）を想定しています。画鋲を用意いたしますので、必要に応じてお使いください。ポスターの掲示・撤収は発表者各自の責任で行ってください。掲示は10:00から可能です。セッション終了後は直ちに撤収して下さい。発表者リボンと画鋲は、10:00～13:00 受付にて、13:00以降は3F ポスター会場前にて用意しています。

認定心理士の会主催シンポジウム（10:00～12:00, 2F 創風）

企画・協力：日本心理学会・認定心理士の会

発達障害と生きる社会 ～その機序と支援について～

企画者・司会：小川 健二（北海道大学大学院文学研究科）
河原 純一郎（北海道大学大学院文学研究科）
話題提供者：米田 英嗣（青山学院大学教育人間科学部）
話題提供者：関 あゆみ（北海道大学大学院教育学研究院）
話題提供者：安達 潤（北海道大学大学院教育学研究院）
話題提供者：湯澤 正通（広島大学大学院教育学研究科）

企画趣旨

近年発達障害の増加が叫ばれており、社会的関心も高まっている。発達障害は広範に渡っており、発達障害と生きる社会をめざすためには、その発達過程や機序について理解することが不可欠である。本シンポジウムは、基礎から臨床まで様々な立場から話題提供をいただき、その機序について考えるとともに社会支援へと役立てたい。

話題提供者 米田 英嗣

『自閉スペクトラム症を持つ方々の共感性』

自閉スペクトラム症を持つ人は共感することが難しいと考えられてきたが、近年の研究から、それが必ずしも正しくないことがわかってきた。自閉スペクトラム症を持つ人同士の共感的反応などの研究を紹介し、自閉スペクトラム症を持つ人の視点に立つことの重要性について考えたい。

話題提供者 関 あゆみ

『学習障害の理解と支援』

学習障害の脳機能異常は完成した情報処理経路の障害ではなく、学習によって生じる皮質機能の特

殊化の障害と考えられる。読み書き障害（ディスレクシア）について、脳機能研究の近年の知見を紹介するとともに、支援の基本的な考え方を述べる。

話題提供者 湯澤 正通

『発達障害とワーキングメモリ』

ワーキングメモリは「脳の黒板」に喩えられる。「脳の黒板」が小さいと一度に覚えて置ける情報が少なく、読み書き、計算などの学習に遅れが生じる。そのような子どもをどのように診断し、支援したらよいのかを解説する。

話題提供者 安達 潤

『発達障害児者の支援に国際生活機能分類（ICF）を活かす ～連携支援の実現に向けて～（仮）』

発達障害は生涯にわたる多様な時点で環境要因との相互作用により生活不適応を呈する。そのため発達障害支援には多職種支援連携が必須であるが、その実現には至っていない。この課題の解決に向けてICF項目に基づき多職種が同じ視点で支援関連情報を把握し、共有する情報共有システムを開発した。本システムの実際と有用性検証について述べる。

「心の理論の裾野」

司会者：青木 美和子（札幌国際大学人文学部）
話題提供者：川端 美穂（北海道教育大学旭川校）
話題提供者：小島 康次（札幌保健医療大学保健医療学部）
話題提供者：中野 茂（札幌国際大学人文学部）
指定討論者：戸田 まり（北海道教育大学札幌校）

企画趣旨

ある登山家が『富士山はなぜ高いのか、それは裾野が広いから』と話していた。「心の理論」は他者の内面を知ることであり、精神生活の根本と言えよう。しかし、従来の研究では、かつてのピアジェ課題と同様に誤信念課題で測られたものに限定されてきた。そこで、本シンポジウムでは、子ども相互の関わり合いを中心に、心の理論の裾野を辿っていく。

話題提供者 川端美穂

「幼児期の保育のなかにみられる心の理解—情動共有経験のなかで感じ取る「心」と内省的に気づく「心」

「心の理論」の発達は一樣ではなく、日本の子どもは欧米の子どもより課題達成が2年近く遅れることが報告されている。日本の子どもは、周囲の大人や仲間とのやりとりを通じて、人の言動に対する理解枠組みをどのように熟達させているのか、保育現場のエコロジカルな視点から論じる。

話題提供者 小島康次

「ダイナミックシステムからみた心の理論：社会的参加の水準と他者の心」

心の理論は当初、個人内に閉じた認知過程として定式化された (Dennet)。しかし、他者の心に対する認知は、他者と共有する社会的文脈と切り離すことができないと考えられる (Rogoff, 1995)。心の理論課題における年齢差に対する要因として、社会的参加の水準の違いという観点から検討を試みる。

話題提供者 中野 茂

「トドラー・双生児同士の視覚的共同注意にみる他者の心の読み取り」

共同注意は0歳終わりに出現し、意図を持つ他者理解の始まりと言われているが、子ども同士の研究は皆無に近い。そこで、トドラー保育園児の観察と、双生児1事例の実験研究から、子ども同士では、他児に関わろうとする強い動機を持っていることを論じる。

研究発表プログラム (15:30~17:30, 3F ロビー)

ポスター発表

在籍責任時間 奇数番号：15：30-16：30 偶数番号：16：30-17：30

-
- | | |
|---|---|
| 1 幼児の歌唱能力を規定する要因の解明：「AIRS 歌唱能力テスト子ども用改訂版」と「家庭環境調査」による検討 | ○ 小椋 佐奈衣 (北海道大学大学院文学研究科) |
| 2 顔の明るさ知覚における左右呈示位置および背景色の影響 | ○ 伊藤 博晃 (北海道大学大学院文学研究科)
岡田 顕宏 (札幌国際大学) |
| 3 時間的展望における世代差 | ○ 槇 洋一 (北海道大学大学院文学研究科)
川崎 弥生 (日本学術振興会・専修大院文研究科) |
| 4 着用する衛生マスクの色が印象と魅力の知覚に及ぼす影響 | ○ 伊藤 資浩 (北海道大学/日本学術振興会)
宮崎 由樹 (福山大学 / 神奈川大学)
河原 純一郎 (北海道大学) |
| 5 感情語と図式顔表情から連想される色 | ○ 高橋 文代 (北海道大学大学院文学研究科)
川端 康弘 (北海道大学) |
| 6 フリックカー課題によるシーンの過渡的要因が変化検出に及ぼす影響 | ○ 加藤 遥花 (北海道大学大学院文学研究科)
田山 忠行 (北海道大学大学院文学研究科) |
| 7 グループワークにおける「断り表現」の実態 —社会的自己制御との関係から— | ○ 藤木 晶子 (北星学園大学短期大学部生活創造学科)
米谷 さくら (北星学園大学学習サポートセンター) |
| 8 臨床心理士のバーンアウト | ○ 新岡 美希 (北星学園大学大学院社会福祉学
研究科臨床心理学専攻)
牧田 浩一 (北星学園大学大学院) |
| 9 中強度運動による腹外側前頭前野の活動変化 —有酸素運動と記憶機能の関連についての検討— | ○ 堤 千江子 (東京農業大学生物産業学部)
神尾 三徳 (東京農業大学生物産業学部)
村田 みお (東京農業大学生物産業学部)
田中 匠 (東京農業大学生物産業学部)
吉川 宗寿 (東京農業大学生物産業学部)
柳沢 耀一郎 (東京農業大学生物産業学部)
後藤 広太郎 (東京農業大学生物産業学部) |
| 10 注意持続課題遂行時における音環境の影響についての検討 | ○ 遠藤 雅也 (東京農業大学生物産業学部)
境 南葵 (東京農業大学生物産業学部)
野崎 将平 (東京農業大学生物産業学部)
花田 造之進 (東京農業大学生物産業学部)
座間 悠次 (東京農業大学生物産業学部)
中村 旭宏 (東京農業大学生物産業学部) |

- 11 木目調が作業効率に及ぼす影響についての検討
- 鈴木 彩心 (東京農業大学生物産業学部)
 - 鍵本 依見 (東京農業大学生物産業学部)
 - 福崎 信太 (東京農業大学生物産業学部)
 - 伊藤 隼志郎 (東京農業大学生物産業学部)
 - 西原 悠花 (東京農業大学生物産業学部)
 - 後藤 広太郎 (東京農業大学生物産業学部)
- 12 色彩環境の変化による作業能率への影響について
～誘導領域と検査領域の違いは人の作業能率に
影響を及ぼすのか～
- 築山 雄人 (東京農業大学生物産業学部)
 - 石垣 宝乃果 (東京農業大学生物産業学部)
 - 西村 洋哉 (東京農業大学生物産業学部)
 - 弓田 眞悟 (東京農業大学生物産業学部)
 - 中野 太貴 (東京農業大学生物産業学部)
 - 後藤 広太郎 (東京農業大学生物産業学部)
- 13 香りによって情報処理パフォーマンスは変化するのか？
- 後藤 広太郎 (東京農業大学生物産業学部)
 - 池田 優希 (東京農業大学オホーツクキャンパス
アクアバイオ学科)
 - 内谷 有希 (東京農業大学オホーツクキャンパス
食品香粧学科)
 - 松瀬 菜緒子 (東京農業大学オホーツクキャンパス
アクアバイオ学科)
 - 大西 綺良里 (東京農業大学オホーツクキャンパス
生物生産学科)
 - 山沢 文也 (東京農業大学オホーツクキャンパス
生物生産学科)
 - 杉山 練 (東京農業大学オホーツクキャンパス生物
生産学科)
 - 新井 孝一郎 (東京農業大学オホーツクキャンパス
生物生産学科)
 - 植松 萌々香 (東京農業大学オホーツクキャンパス
食品香粧学科)
- 14 児童の算数科学習意欲とスコアの関連はあるか
- 佐野 正樹 (北海道オホーツク管内網走市立西が丘
小学校)
 - 後藤 広太郎 (東京農業大学オホーツクキャンパス
教職課程)
- 15 集合的記憶に関する理論的検討
- 藤本 愉 (旭川大学短期大学部)
- 16 漢字二字を用いたロコミ効果の検討 (1) ニュー
トラル語を用いた分析
- ウィリアムズ 信介 (北海道教育大学函館キャンパス)
 - 太田 良真 (北海道教育大学函館キャンパス)
 - 赤坂 裕太 (北海道教育大学函館キャンパス)
 - 林 美都子 (北海道教育大学函館キャンパス)
- 17 漢字二字を用いたロコミ効果の検討 (2) ポジ
ティブ語とネガティブ語を用いた分析
- 太田 良真 (北海道教育大学函館キャンパス)
 - 赤坂 裕太 (北海道教育大学函館キャンパス)
 - ウィリアムズ 信介 (北海道教育大学函館キャンパス)
 - 林 美都子 (北海道教育大学函館キャンパス)

- 18 漢字二字を用いたロコミ効果の検討（3）回帰分析を用いた好意度の予測
- 赤坂 裕太（北海道教育大学函館キャンパス）
ウィリアムズ 信介（北海道教育大学函館キャンパス）
太田 良真（北海道教育大学函館キャンパス）
林 美都子（北海道教育大学函館キャンパス）
- 19 オリジナル曲を用いたモーツァルト効果の再検証
ーネガティブ感情がIQ向上をもたらす?!ー
- 林 美都子（北海道教育大学函館キャンパス）
- 20 大学生における潜在的・顕在的自尊感情と仮想的有能感の関連
- 川村 遼（帯広少年院）
戸田 弘二（北海道教育大学札幌校）
- 21 看護学生への適用を想定したレジリエンス尺度の開発
- 竹之内 優美（北海学園大学大学院経営学研究科）
田村 卓哉（北海学園大学経営学部）
- 22 介護職における心理的支援のニーズ
- 風間 雅江（北翔大学）
- 23 IWM 尺度と ECR-GO 尺度間の関連性の検討ートドラーの顔表情に対する反応からー
- 松田 久美（北翔大学短期大学部）
- 24 大学生が自分の職業を決められないのは親の職業のせい
いか？
- 佐山 公一（小樽商科大学）
- 25 道徳的違反と怒り：加害者および被害者の集団成員性の効果
- 福野 光輝（東北学院大学教養学部）
佐藤 公作（放送大学）
- 26 妊娠期における母親から子どもへのボンディングの関連要因
- 中野 まみ（名古屋大学大学院教育発達科学研究科
博士課程後期課程）
深谷 麻未（名古屋大学大学院教育発達科学研究科）
崎山 美穂（名古屋大学大学院教育発達科学研究科）
諸岡 由依（名古屋大学大学院教育発達科学研究科）
高橋 雄一郎（国立病院機構長良医療センター）
服部 律子（岐阜県立看護大学育成期看護学）
金子 一史（名古屋大学心の発達支援研究実践センター）
- 27 異世代教師たちの学びを支える教師コミュニティの創出
- 植木 克美（北海道教育大学）
高橋 道也（北海道文教大学）
氣田 幸和（札幌市立平和小学校）
鎌田 良子（石狩市立厚田中学校）
宮崎 世司（札幌市立資生館小学校）
篠塚 友希野（札幌市立前田中央小学校）
浪岡 美保（北海道子ども相談支援センター）
砂川 敬恵子（札幌市立元町北小学校）
三井 理恵（安平町立早来小学校）
渡部 良子（聖ミカエル幼稚園）

- 28 大学生の被害妄想的心性の発生についての検討
- 澤谷 朋恵 (札幌国際大学大学院心理学研究科)
橋本 久美 (札幌国際大学)
- 29 父親の育児ストレスの要因を探る—育児における夫婦の相互影響に焦点化して—
- 窪田 葉月 (札幌国際大学大学院心理学研究科)
中野 茂 (札幌国際大学)
- 30 感情を抑えることは不健康なのか？
- 石垣 林太郎 (札幌国際大学大学院心理学研究科)
岡田 顕宏 (札幌国際大学)
- 31 「いまここ」に意識を向ける呼吸瞑想法による先延ばし傾向低減効果の検討
- 浜田 健太郎 (札幌国際大学大学院心理学研究科)
橋本 久美 (札幌国際大学)
- 32 情動感染のしやすさは個人の適応感を高めるのか？
- 古賀 春和 (札幌国際大学大学院心理学研究科)
岡田 顕宏 (札幌国際大学)
- 33 老いの受容に対するライフイベントの関連の検討
- 江上 智章 (北海道公立学校スクールカウンセラー)
橋本 久美 (札幌国際大学)
- 34 養護教諭の役割り感—児童生徒の自立を支援する保健教育活動—
- 加藤 玲子 (札幌国際大学大学院心理学研究科)
橋本 久美 (札幌国際大学)

北海道心理学会第 65 回大会プログラム

発行日 2018 年 10 月

発行者 北海道心理学会第 65 回大会準備委員会

準備委員長 中野 茂 (札幌国際大学人文学部)

準備事務局長 橋本 久美 (札幌国際大学人文学部)

準備委員 岡田 顕宏 (札幌国際大学人文学部)

松浦 秀太 (札幌国際大学人文学部)

北海道心理学会第 65 回大会準備委員会

〒004-8602 札幌市清田区清田4条1丁目4-1 札幌国際大学人文学部橋本研究室内

E-mail : hokkaido-psy65@siu.ac.jp

Te1 : 011-881-8844

FAX : 011-885-3370